

地域医療連携だより

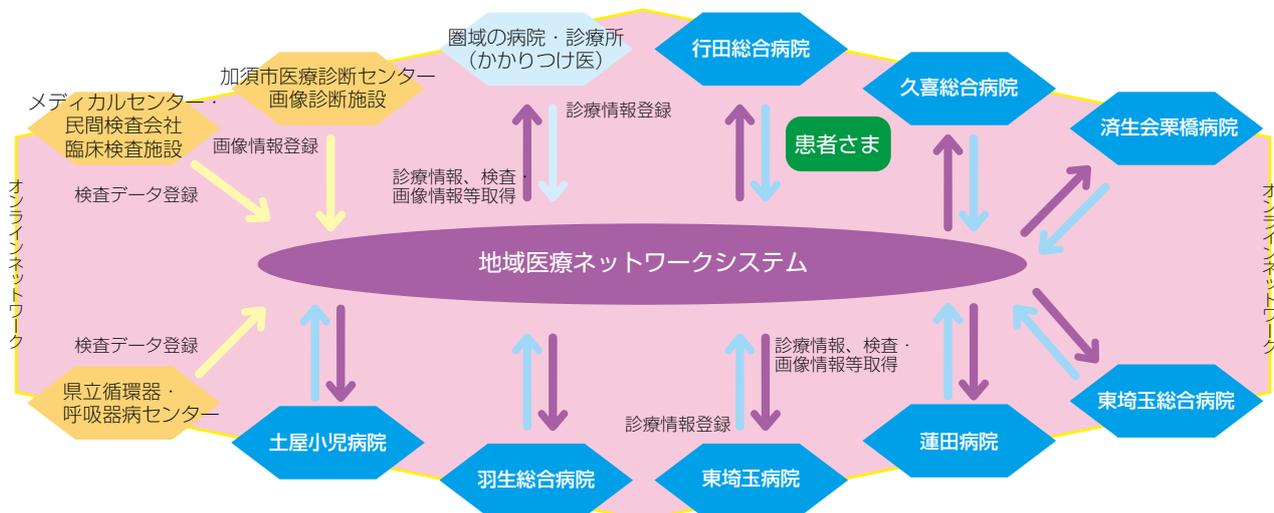
2015年11月

■地域医療ネットワークシステム《とねっと》のご案内

日頃より、先生方におかれましては、地域医療連携にご協力を賜り、誠にありがとうございます。今回の『地域医療連携だより』では、当院も参加医療機関であり、埼玉利根保健医療圏にて運営を行っている《とねっと》についてご紹介させていただきます。

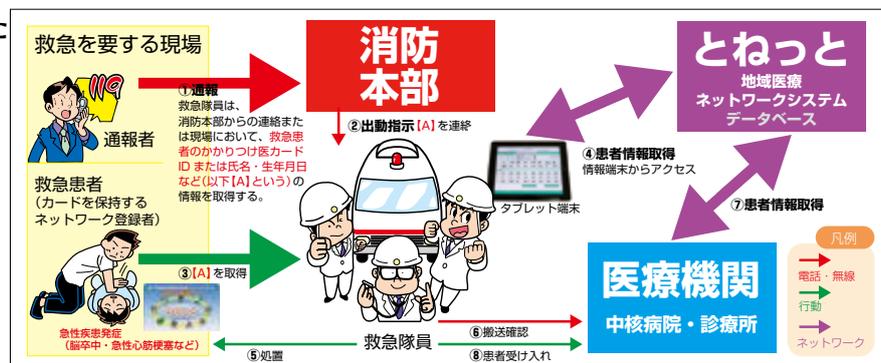
①各医療機関や施設がオンラインネットワークで繋がり、情報を共有することにより、患者さま中心の医療を提供することが可能となります。

▶埼玉利根保健医療圏における地域医療ネットワーク



②《とねっと》ご登録後に発行される『かかりつけ医カード』。このカードを救急隊が活用して、患者さまの必要情報をより早く取得し、迅速な処置・搬送に役立てることが可能となります。

▶かかりつけ医カードを活用した救急患者搬送支援イメージ



③患者さまが《とねっと》へ参加するには、参加（利用）同意書が必要となります。当院の地域医療連携室にてお配りしておりますので、お気軽にお問い合わせください。※患者さまへの記入説明等も地域医療連携室で対応させていただきます。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

地域医療連携室 直通 TEL.048-564-2537
直通 FAX.048-564-2538

研修会等のご報告

●平成 27 年 9 月 11 日 (金) ～ 12 日 (土) ～ DMAT 東日本豪雨災害へ～

9 月 10 日に発生した茨城県常総市の鬼怒川等の氾濫災害に対し、厚生労働省医政局 DMAT 事務局・埼玉県医療整備課からの派遣要請を受け出動しました。

負傷者数は約 600 名と想定され、救助者への対応指令の下、出動可能な各医療機関の DMAT と共に集合場所である茨城西南医療センターへ向かいました。主要幹線道路は全て冠水しており、渋滞が発生。緊急走行を行いましたが出着までに思いのほか時間を要しました。

到着後は最前線に配置され、家屋等に取り残された人々を自衛官・消防士・警察官が救助。救助された方のトリアージや心身の状態を確認し、拠点となる医療機関への搬送を担いました。その後、避難所を回って健康状態の確認を行いました。



●平成 27 年 9 月 30 日 (水) ～救急勉強会～

第 15 回目となる今回の救急勉強会は、当院で開催される全救急勉強会の監修を務める救急総合診療科部長・小山尚也先生による講演。『アナフィラキシーの症状と対応』『低体温症について』の 2 つのテーマに沿っての勉強会となりました。「ナフィラキシー性ショックの症状とは？」に始まり、「症状と対応 (食物アレルギー)」、「原因」、「エピペン使用時の注意」、「エピペンの副作用は一時的な頻脈のみ。むしろ確実に溶液が入った事がわかるので、副作用が出現してほしい」、「食物アレルギー」、「ヒスタミン中毒」、「偶発性低体温症」、「体温を上昇させよう!」、「運動する事によって、体内からの熱産生の 6 割を占める筋肉量を増やす」「体内の大切なものは重い (骨、筋肉、血液・水分) 脂肪は血管が少なく熱を生み出さないが、断熱材の働きをする」、「食事は体内からの熱産生の 2 割を占める (食事誘発性熱産生)」など、約 1 時間に渡っての講義となりました。



📶 地域医療連携室 VOICE

秋らしからぬ暑さが先月まで続いておりましたが、11 月に入り急に涼しくなりました。

体調管理もなかなか難しく、毎日服装選びに悩んでいる今日この頃です (といいながら、代わり映えのしないダークスーツなのですが...)

当院は常勤医が入職し、幅広くご紹介患者をお受けする事が可能となりました。お役に立てることがございましたら、お声を掛けて頂ければ幸いです。また急性期の治療後の逆紹介のご協力も重ねてお願い申し上げます。

黒田 綾

地域医療連携室 直通 TEL.048-564-2537
直通 FAX.048-564-2538